

今年度でスクラップまたは縮小した事業と効果額一覧

総務部 経営改革推進担当

No.	事務事業名	見直し内容	R6年度決算での削減見込額 (単位:千円)
1	各人権文化センター管理運営事業	各人権文化センターで開催している人権講演会等の一部を合同開催することにより講師謝礼の削減や業務の効率化を行った。また、施設清掃委託業務と施設管理委託業務の効率化や経費の削減を行った。	80
2	非核平和都市推進事業	「キッズ・ピース・ウォーク」と「市内史跡・戦跡めぐり」を統合し、子どもと大人が一緒に参加し、引き続き平和への想いを共有できる機会とした。	3
3	自治体連携事業	全国民間空港関係市町村協議会から退会した。	10
4	自治体連携事業	会議出席費用(旅費)を削減した。	19
5	情報ネットワークシステム管理事業	配線・モール設置作業を外注せず、担当課の職員で実施した。部材は、従前どおり情報政策課が準備した。	1,200
6	総務事業	職員提案制度の見直しを行った。	190
7	監査委員事業・公平委員会事業	出席分担金及び旅費については、開催地が近畿を越えるような遠方の場合には出席を控えることにより経費を削減した。	155
8	行財政経営推進事業	デジタルツールの経費を削減した。	2,728
9	子ども議会事業	外部講師による「子どもの権利」に関する講演を行う事前学習会ワークショップについて、実施回数を削減した。	20
10	保幼小中連携教育推進事業	つながろう！プレ1年生事業について、対象となるブロック別研修の範囲を絞り、予算を縮減した。	120
11	観光施設維持管理事業	宝塚観光噴水の運用及び保守点検を一旦休止した。	1,362
12	観光振興・宣伝事業	Wi-Fi機器撤去費用において、観光にぎわい課所管の機器と総合防災課所管の機器を同時に撤去した。	374
13	消防予防事業	火災予防啓発事業としては一定の啓発効果があるため、事業継続の必要はあると考えているが、令和6年度は職員負担及び時間外を削減するために、ポスターコンクールに係る表彰式の各学校での実施へ変更した。	60
14	消防救助事業	消防訓練の視閲のために非番職員の時間外勤務が発生していたが、視閲制度を見直すことによって時間外勤務を削減した。	136

合計

6,457